新0035

						- 1	ᇄᆕ	. الما	ューシート(厚生労働省)							
事	業名		全国	障害児・者	等実	_	ريلا [	担当部		1					<u>ノ</u> 或責何	千者
事業	開始・			平成 2				担当記				企画課				 誠
	F定)年度 計区分			一般:		~		施策			IV-7-1 障害者の生活の 備し、障害者の 自殺対策を推済	の場、働く場や の地域における		こ ける 5	支援体	本制を整
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)			_	-			関係する通知		•		-	_			
(目排筒潔に	の <b>目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)					制の実施等の。 いて把握する。				ため	)、障害児·者等	(これまでの法制	度では支抗	爰の対象	象とな	らない者を
(54	<b>業概要</b> 5程度以 引添可)	これまで5年に1度実施してきた身体障害児・者等実態調査及び知的障害児(者)基礎調査を統合し、調査対象を拡大して実施する調査である。 国勢調査地区から無作為に抽出した地区における障害児・者等(障害者手帳をお持ちの方及び手帳は持っていないが、長引く病気やけまり生活のしづらさなどがある方)を客体とし、障害の状態その他の調査対象者の基本的な属性、現在利用しているサービスと今後利用であるサービス等について把握する。 本調査は、厚生労働省が都道府県、指定都市、中核市に委託(補助率10/10)して実施する。  ※ 全国障害児・者等実態調査(仮称)の調査の名称、調査の内容、調査の方法等については、障がい者制度改革推進会議総合福祉部意見を聴きながら、「全国障害児・者実態調査(仮称)に関するワーキンググループ」において検討しているところである。										さけが等に 利用を希望				
実施	<b>拖方法</b>	口直	接実施					□補助   □貸付			口その他					
					20年度			21年度			22年度	23年度		24年度要求		要求
		予		切予算 			_					32	l			
予算	算額•	算の		E予算 			_			_						
	<b>.行額</b> ∶百万円)	状況		返し等 			_			_		222	321			
					_		_			_		32				
			執行 ———— 執行家				_		_	_				_		
		執行率(%)								$\leq$						目標値
成里日	目標及び			成果					単位	Z	20年度	21年度	22年	度 ———	(	年度)
成	ョ <del>(</del>			りに示すこと のない「障害		なじまない。 8合福祉法(仮	ī	成果実績	-		-	_	_			_
().)	/ <b>F</b> // <b>A</b> /	称)」		等の検討の		資料を得ること		達成度	%		_	_	_			
				活動	指標				単位	Σ	20年度	 21年度	22年	 度	23年	度活動見込
	指標及び 動実績							活動実績		T	_	_	_		糸	8万人
	トプット)	調査	対象者数	汝				(当初見込								
								み)					( –	)	(於	8万人)
	z当たり iスト			_	-			算出根拠				_				
		目		23年度当初	予算	24年度要求						な増減理由				
灰	職員旅費	17: 1=+ +-	1 /1 . Alle = F	1		_	2	:3年度限り	の経費	責で	きあるため。					
2 3	社会保障関 庁費 保健福祉調			17		_										
2	保健福祉調 体委託費	宜地万	公共団	302		_										
4 年							_									
年度予算内							_									
算内																
訳		 計		321			$\dashv$									

		事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項								
目的	_	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。									
状· 況予 算	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。									
の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。									
<b>資</b>	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。									
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。									
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。									
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。									
実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。									
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
成果実	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか									
積	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
	# ・成果目標(目的)については、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の意見を聴きながら、「全国障害児・者実態調査(仮称)に関する果 ワーキンググループ」において検討し、「制度の谷間のない新たな福祉法制の実施等の検討の基礎資料を得るため、障害児・者(これまでの法制度では支援の対象とならない者を含む。)の生活実態やニーズを把握すること」としている。										
		予算監視・効率化チームの所見									
		本事業は、制度の谷間のない新たな福祉法制の実施等の検討の基礎資料 把握することを目的とする事業であるが、本年度調査を実施することで目的									
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)								
	_										

	※平成22年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する)(単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	
	<b>.</b>

		Α.		E.						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計						
		В.			F.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)				
			(ロババ)			(11731 17				
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。費 目と使が分かる ように記載)										
においてブロックごとに最大の										
金額が支出されている者につい										
て記載する。費										
で実情が分かる										
ように記載)	計		0	 計		0				
		C.			G.					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)				
			(日7311)			(日/5/13/				
	計		0	計		0				
		D.			H.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
			( ) ( )							
	計		0	計		0				
	÷1			÷1						

### 支出先上位10者リスト A.

<u>A.</u>					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(新)0036

						ŕ	丁〕	ひ事業レ	,ビ:	1-	ーシート	<del></del>	<u>「</u> 」	會働省	ì)	
事	業名		<u>;;;;</u>	回支援専門	月	-		担当部			-	局障害保健	· · · · ·	<b>.</b>	<del></del>	
	開始 • 定)年度			平成2	3年度			担当記	果室	ß	障害福祉課地 <sup>」</sup>	或移行•障	<b></b>	内	山 博之	
会言	†区分			一般	会計			施策	名		V-7-1 (障害者の 者の地域における生				本制を整備し、障害 進する。)	
(具	<b>心法令</b> 体的な も記載)			-	-			関係する 通知		•	巡回支	援専門員	整備事業の	実施に	ついて	
(目指簡潔に						集まる施設・ 上の向上を図る		こ巡回支援を	実施し	<b>ا</b> , β	章害が"気にな	る"段階か	ら支援を行う	ためのは	本制の整備を図	
(5行	<b>集概要</b> f程度以 训添可)	援を	担当する	に関する知言 職員等に対 1/2 市区	寸し、『	章害の早期発	<sup>ヾ</sup> 、ſ 見・	保育所等の∃ 早期対応の	そども・ ための	やその助	∵の親が集まる 言等の支援を	施設・場へ 行う。	の巡回支援を	を実施し	、施設等の支	
実施	<b>地方法</b>	口直	接実施		]業務	委託等		■補助	■補助  □		貸付	口その他				
						20年度		21年度			22年度		23年度	2	.4年度要求	
		予	当社	切予算	_		_			_			156		267	
- T. 40	47 数表	算の	補工	E予算	_		_			_						
執	¥額 · │ 行額 │	状	繰走	返し等	_		_			_						
(単位	:百万円)	況		計	_		_			_			156		267	
		執行額		額												
		執行率(%)														
				成果	指標				単位	ז	20年度	21年度	Ę 22 <sup>4</sup>	丰度	目標値(年度)	
	目標及び 限実績	<i>2</i> ≪.2±	陪宝生人	N 日 田 泰 目	・早期対応を図ることが こ成果目標を示すことは			成果実績		Т						
(アウ	トカム)	目的	であるが					t -		_						
		困難	0				達成度	%	_				_			
汗動士	旨標及び			活動	指標				単位	<b>ե</b>	20年度	21年度	E 224	年度	23年度活動見込	
活動	B保及の 助実績 トプット)			事業実施	白沙/	<del>太</del> ⊁h		活動実績						/	68	
	,,,,			尹未天心	H / L Y	<b>平</b> 致		(当初見込み)							(66)	
	:当たり スト	-			(円/	)	)	算出根拠		•			-			
		目	-1.11	23年度当初	予算	24年度要求			la.		Ė	な増減理	<b>±</b>			
平成23・24年度予算内訳	巡 <b>四支援</b> 專	専門員整備事業		156		267		実施市町村	奴の増							
訳		= -		156		267	$\dashv$									
		計		100		207										

		事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項								
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。									
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。									
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。									
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。									
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。									
使える。	_	受益者との負担関係は妥当であるか。									
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
·	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。									
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。									
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか									
果実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
結果	点 検 結果 果										
		予算監視・効率化チームの所見									
	本事業は、発達障害児・者の早期発見・早期対応のための巡回支援を行う経費であり、今年度の執行においても二一ズが高いことから、必要性及び執行の観点から予算規模を維持すべきである。										
ト記の予質監視・効率ルチールの正見を跡まった改善点/振管亜ポルセルを反映性辺等/											
	1	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	章要求における反映状況等)								
		上記の予算監視・効率化チ―ムの所見を踏まえた改善点(概: ————————————————————————————————————	尊要求における反映状況等)								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 一	算要求における反映状況等)								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 ー	尊要求における反映状況等)								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 ー 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)									
		<u>-</u>									
		<u>-</u>									
		<u>-</u>									
		<u>-</u>									
		<u>-</u>									
		<u>-</u>									
		<u>-</u>									

	※平成22年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する)(単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	
	<b>.</b>

		Α.		E.						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計						
		В.			F.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)				
			(ロババ)			(11731 17				
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。費 目と使が分かる ように記載)										
においてブロックごとに最大の										
金額が支出されている者につい										
て記載する。費										
で実情が分かる										
ように記載)	計		0	 計		0				
		C.			G.					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)				
			(日7311)			(日/5/13/				
	計		0	計		0				
		D.			H.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
			( ) ( )							
	計		0	計		0				
	÷1			÷1						

### 支出先上位10者リスト A.

<u>A.</u>					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番<del>号</del> 新0037

						平成2	3 :	3年行政事業レビューシート (厚生労働名							<del>[0007</del> 労働省)	
事	業名	介護	職員等に	よるたんの¶ 事		り実施のための	研修	担当部	局庁		社会•援護/	<b></b>	呆健福祉			<b>或責任者</b>
	開始 • 定)年度			開始:平原終了:平原	<b>戈2</b> 3年			担当記	果室		障	害福祉	課		土	生業二
会記	†区分			一般	会計			施策	名	I	Ⅳ-7-1 障害者の 地域における生活を3	生活の場 支援すると	、働く場や地 ともに、自殺	地域における支 対策を推進す	接体制を	を整備し、障害者の
(具	<b>心法令</b> 体的な も記載)			_	-			関係する通知		•			_	_		
(目指簡潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を こ。3行程 以内)					下に、たんの吸る介護職員等を			齢者な	章	害者に対して、必	必要なケ	アをより安	ぞ全に提供	するたと	め、たんの吸引
(5行	各都道府県において、適切にたんの吸引や経管栄養を行うことができる介護職員等の養成に必要な研修事業を実施する。 (具体的な研修内容については、「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会」において いる) <b>業概要</b> 〒程度以 別添可)											討が進められて				
実施	<b>地方法</b>	口直	接実施		]業務	委託等 		■補助	■補助		□貸付    □		他			
						20年度		21年度			22年度		23年		2	4年度要求
		予		切予算	_		_			_			306	3		
予复	算額・	算の		E予算	_					_						
執	<b>行額</b> :百万円)	状況	<b>繰走</b>	返し等	_		_		_	_						
(丰位	. 87177	<i>)</i> ,		計	_		_						306	3		
			執行	額 ————	_											
		執行率(%)														
·········日日	目標及び			成果	操指標 フケアを行うことができる 、各自治体において研修 れるものであることから、 つていない。				単位	ż	20年度	21	年度	22年	度	目標値 (23年度)
成男	実績							成果実績	人							_
(20	トカム)	=-;	ズに応じ					達成度	%							_
				活動	指標				単位	ż ĺ	20年度	21	年度	22年	度	23年度活動見込
活動	<b>旨標及び</b> 助実績 トプット)			実施自	ኌ⅓⊀	<del>!h</del>		活動実績	都道府	C I E						_
	1 2 31 7			关心日	/口   个 女	<b>X</b>		(当初見込み)	即坦州	示						(47)
	:当たり  スト				一円			算出根拠					_			
	•	目		23年度当初	]予算	24年度要求	<b>†</b>				Ė	な増減	理由			
平成 2 3 · 2 4 年度予算内訳		<b>季託費</b>			306					2	24年度からは社	会∙援	獲局にお	いて要求。	,	
訳																
		計		306												

		事業所管部局による点検										
	評価	項目	特記事項									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
<b>資</b>	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費目	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか										
果実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
検結果	点 検 結 果											
		予算監視・効率化チームの所見										
		事業実施の効率化の観点から、類似する他事業との統合を図るべきである										
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算	算要求における反映状況等)									
_												
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	る場合はその結果も記載)									

ı

	※平成22年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する)(単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	
	<b>.</b>

		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		В.	<del> </del>		F.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目•使途						
(「資金の流れ」						
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブレカでとに最出されている額が者にもいる報が者にもいる。 で記したが分れている。 で記したが分かるように記載いる。 は、対している。 は、は、対している。 は、は、対している。 は、は、対している。 は、は、も、は、も、は、も、は、も、は、も、は、も、も、も、も、も、も、も、も						
ている者につい						
て記載する。費目と使途の双方						
で実情が分かるように記載)						
	計		0	計		0
		C.	全 頞		G.	<b>全</b> 宛
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	 計		0
	пІ	D.	l	п	Н.	
	費目		金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	х и	人 <u></u>	(百万円)	х 1	<b>人</b> 些	(百万円)
	計		0	計		0
	н		l	н		ı

# 支出先上位10者リスト <u>A</u>

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号 新0038

												, ,	<del>М Б</del>			
-	AND 27			+ A\\ A \= 1.1 1			- M-	10 V/ +0			11 A 1m=#	口应由归	74.4= 1.1.4n		<b>4. 辛丰 4. 李</b>	
_	業名 開始 ·	全国	国身体障害			一体育館床面改	又修	担当部			社会・援護				作成責任者	
	定)年度			平成23	4 度			担当記	米 <b>至</b> ———	-		果施設管3			黒沢 正俊	
会計	†区分			一般到	会計			施策	名		Ⅳ-7-1 障害者 し、障害者の地域 する				ける支援体制 に、自殺対策	
(具	<b>心法令</b> 体的な も記載)		身体區	章害者福祉	法第	三十一条		関係する 通知		•			_			
(目指簡潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を ∶。3行程 以内)	会との	つ交流の仮	止センターは 達及びレク なものであっ	リエー	又は低額な料 ションのための	金で、 )便宜	. 身体障害 を総合的に	者に関す 供与す	する	6各種の相談に原施設であるため、	なじ、身体原 利用者が	章害者に対 安心して施	し、機能訓 設を利用で	練、教養の向ぎきるよう建物	上、社 の安
(5行	<b>美概要</b> ·程度以 ·]添可)	全国身体障害者総合福祉センターの体育館は、身体障害者等が気軽にスポーツやレクリエーション等を楽しめる貴重な場であるが、竣工後25年が経過し、経年劣化による床面の隙間や傷、塗装の剥がれ、ひび割れ等が多く発生しているため、利用者の安全性と快適性を確保すため、床面の改修を行う。														
実施	古法	■直:	接実施		業務	委託等		□補助			貸付	口その作	<u>t</u>			
						20年度		21年度			22年度 23年度				求	
	算	予		予算						_			2			
字.僧		算の		予算						_						
執	行額	状	繰越	し等						_						
(単位:	:百万円)	況	Ī	i <del>†</del>						_			2			
			執行額	湏						_						
		1	執行率(	(%)						_						
# <b># #</b>	<b>- 4亜 TL ック</b>						単位	<u>-</u>	20年度	21年	度	22年度	目標(年	値 (度)		
成界	目標及び <b>果実績</b> トカム)		本事業は、利用者等の安全確保を目的とした 基盤整備であるため、特定の効果や実績を数値								_	_		_		
			を監査値であるため、特定の効果で美順を数値で定量的に示すことは困難である。					達成度	%		_	_		_		
				活動打	旨標				単位	<u>-</u>	20年度	21年	度	22年度	23年度活	動見込
活重	<b>旨標及び</b> 助実績 トプット)			体育館利	田名	<b>≭</b> ⁄τ		活動実績	人		14,730	17,7	76	16,782	_	
				PT H AD 1.3	713.6	<b>**</b>		(当初見込み)						(17,776)	(17,7	76)
	当たり スト		2,	393, 000	(円	/事業)		算出根拠	修繕費	費(	床面改修工事	に係る経	費一式)			
		目		23年度当初	予算	24年度要求					Ė	とな増減理	里由			
平 成 2 3	Ī	事費		2		0	23	年度限りの	の経費	_						
-																
2 4 Æ																
年度																
度予算内訳																
内訳																
		<b>‡</b> ∔		2		0										

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	「はき初幼ける質は質なが合計合物の名物の日子マウム
使える。	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	随意契約は予算決算及び会計令第99条第2号「予定価格が250万円を超えない工事又は製造をさせるとき」に
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	該当する少額随意契約である。
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		た全国身体障害者総合福祉センターの体育館床面改修工事の経費であり の経費である。	リ、工事自体は今年度中に完成する予定のため、平成23
	1	1 <del>5- m 10 0 - 00 10 10 0</del>	
		_	
	·	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)
		_	
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)

③ 全国身体障害者総合福祉センター施設整備

厚生労働本省 2百万円

肢体不自由者等の利用する全国身体障害者総合福祉センター体育館床面改修の実 施

【随意契約】

A. 美津濃株式会社 2百万円(契約数1)

体育館床面改修工事委託業務

資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っているかについて補足 する)(単 位:百万円)

		A.美津濃株式会社			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	工事費	体育館床面改修工事業務委託	2			
	計		2	計		0
		В.	A #5		F.	<b>人</b> 姑
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目•使途						
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費						
クごとに最大の 金額が支出され						
ている者について記載する。費						
目と使途の双方						
目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
	計		0	計		0
	# .	C.	金 頦	# 5	G.	全 頦
	費 目	使途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	<u> </u>
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(日万円)			( <u> </u> ( <u> </u>   <u>/</u>   )
	計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト \_A.\_\_\_\_\_

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	美津濃株式会社	体育館床面改修工事委託業務	2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

65

						平成2	3	年行政	事業	レ	ビューシ	ート	(月	生	労働省)
事	業名	平和	口を祈念	するための硫	黄島			担当部				会∙援護局		作	成責任者
	開始 • 定)年度			平成234	丰度			担当記	果室		援護企	<b>全画課外事室</b>		梅	原 一豊
会記	†区分			一般会	計			施策	名		戦没者の遺骨の	Ⅳ- )帰還等を行うこ	8 - 2 とにより、i	线没者道	貴族を慰藉する
(具	<b>心法令</b> 体的な も記載)			域における戦況 6件(昭和27年				関係する通知					_		
(目抄	<b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)	政府-	一体とな	つて硫黄島か	らの	遺骨帰還を	推進	きする。							
(5行	程度以	度以 「ティア等のより多くの参加を得て、人員、重機													
実別	<b>恒方法</b>	■直持	接実施	口美	<b>美務</b> 委	<b>≶託等</b>		■補助			貸付	□その他			
					20	0年度		21年度			22年度	23年	度	2	4年度要求
77 An		当初予算		切予算								1,16		982	
	dr des	算	補工	E予算			_								
	<b>算額・</b> 行額	の状	繰走	返し等						_					
(単位	:百万円)	況		計									1,160		982
			執行	額											
		‡	<b>执行率</b>	(%)						_					
<b>+</b> 85	1 <del>1 m</del> 12 * ¢	成果指標							単位	ኔ	20年度	21年度	22年	度	目標値 (年度)
成身					実の慰藉によ に		成果実績	ı		_	_	_		_	
(,,,	,,,	成果については、定量的な把握、指標設定が困 難						達成度	%		_	_	_		
· =: 1				活動指	標				単位	ኔ	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	<b>旨標及び</b> 助実績 トプット)		ΓŻ	黄島における	<b>"</b> 一一"	÷ □ ₩r		活動実績			-	-	_		-
(,,,,			וועד	,英田IC0317で	715-3	: <b>ப 3</b> X		(当初見込み)			_	_	_		(240)
	<b>単位当たり</b> 23年度新規事			度新規事業で	: ある: 	ため省略		算出根拠				-			
		目		23年度当初予	算	24年度要求					主	な増減理由			
平 成	遺骨帰	還等	旅費		12		12								
2 3	遺骨帰	還等	庁費	1,1	03	92	25 ᢖ	実績に併せ	単価の	)見	直しを行ったた	め。			
_	遺骨帰還等	<b>F派</b> 遣	費補助金		45	4	45								
4															
年度															
予 算 内 訳															
内訳															
		計		1,160		982									

		事業所管部局による点検							
	評価	項目	特記事項						
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。							
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。	_						
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。							
<b>資</b>	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_						
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_						
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか							
実 績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
		予算監視・効率化チームの所見							
	1								
3		本事業は、硫黄島からの遺骨帰還を推進するための経費であり、事業目的 実施に必要な経費については、過去の実績を踏まえ、精査の上で予算要求							
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算	算要求における反映状況等)						
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってい	る場合はその結果も記載)						
		_							

新0066

						平成2	3 4	年行政	事業	レビューシート			(厚生労働省)		
事	業名		障害	者等災害臨	時特	例補助金		担当部	局庁	社会・援護	局障害保健福祉	止部	作	成責任者	
	開始・ 定)年度			平成2	3年度			担当記	果室	障	害福祉課				
会計	区分			一般:	会計			施策	名		D生活の場、働く場 おける生活を支援			爰体制を整備し、障 対策を推進する	
(具		び助り	ずに関す		23年	特別の財政援 法律第40号) 条		関係する通知		・「平成23年度障	害者等災害臨時	∳特例補助st	⋛の国原	車補助について」	
(目指簡潔に	。3行程	という接施	う。)によ 設等には	り被災したる	者につ 及び居	いて、障害児 発住費の支給	施設を行う	设給付費及 5地方公共	び介語 団体な	に伴う原子力発電 養給付費等の免除 が、今回の震災被 環境整備を図るこ	、並びに指定策 害の甚大さにか	ロ的障害児 いんがみ、	施設•	指定障害者支	
(5行	<b>集概要</b> i程度以 il添可)	り障す場の●被の●被が	害者自立が 引用者立た 者とにこ 。)した した した 降 りした 降	▼支援法等に 利用者負担 支援法におい で対用者負担 で対用者 等のが に対している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	におけたは かっぱん おけん かっぱん かっぱん おいま かいま かいま おいま ひょう おいま ひょう おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	る障害福祉サラことが困難ない。 大サービスにの震災の被害のいて、 額について、 所に係る食う 及び知的障害	ナーでかがま いまり きんがん はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょう しょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょう しょうしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう	ス等に係ると認用からる。 と数理用ある。 き大の全見の で全見り の自己等の を表する。	る利用に別のよう 利合用 に対して いまま といま といま のま といま のま といま といま といま といま といま といま といま といま といま とい	旦の減免(補助率  者負担について   は、その利用者負  者負担額を除いから、特例として、市 支援する。(財政  減免(補助率:10/ に係る食費を財政支	は、市町村の判 負担を減免する に額を、国、市町 前町村が利用者 支援の対象は、 10) 住費の自己負	ことができ J村、都道 負担につき 利用者負	る。 府県が き災害 担額を	「それぞれ負担 減免を行った 減免した場合	
実が	拉方法	口直	接実施		二業務	<b>香託等</b>		■補助		口貸付	□その他				
		予	当	初予算		20年度		21年度 一		22年度 —	23年	度	2	4年度要求	
	<b>算額・</b> 行額	算 補正う		正予算		_		_		_	12	.0			
		の状	繰	越し等		_		_		_					
	:百万円)	況		計		_		_		_	12	.0			
			執行	額		_		_		_					
		i	執行率	(%)	-			_		_					
	- ! 4			成果	指標				単位	20年度	21年度	22年	度	目標値(年度)	
成昇	目標及び <b>果実績</b> トカム)		自治体	本において被	医害状	況を把握中		成果実績達成度	%	_ 	_	_			
				活動	指標				単位	1 20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込	
活重	<b>計標及び</b> 助実績 トプット)		<b></b>	<u></u>	+ <del></del>			活動実績		_	_	_		_	
()-)	トノット)		日冶化	いること	きまで	況を把握中		(当初見込み)				( -	)	( - )	
	当たり スト			_	(円/	•	)	算出根拠			_				
	費	1 目		23年度当初	予算	24年度要求	<b>t</b>			É	Eな増減理由				
平成	障害福祉 利用者	負担の	減免	0 (27百万円	3)										
2 3	食 自己負	費等の 担額の		0 (93百万円	3)										
2															
4 年															
度															
予 算 内							$\blacksquare$								
訳		≞⊥ ————————————————————————————————————		0	-		$\dashv$								
		計		(120百万日	円)										

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状・ 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の流	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
金の流れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
п •	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	東日本プ条に基で	、震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律(平成23 づき、 ≷施する。	年法律第40号)第85条、第86条、第87条及び第88
	İ		
		_	
	İ	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算)	算要求における反映状況等)
		_	
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	へる場合はその結果も記載)
		III HO (ACAICT ACA) IV AND A COOK OF COOK	WIND TO CONTRACT OFFICE
		<del>-</del>	

	※平成22年度実績を記入
次人の汝上	
● 賃金の流れ (資金の受け)	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する) (単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	

		Λ			F					
		A.	金 額	# 0	E.	金 額				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計		0				
		B.			F.	•				
	費 目	使 途	金額(百万円)		使 途	金額(百万円)				
			(百万円)		~ ~ ~	(百万円) 				
費日•Ġ淦										
(「資金の流れ」										
クごとに最大の										
費目・使途 (「資金の流れ」 においてでででででででででででででででででででででででででででででででででででで										
て記載する。費										
目と使途の双方で実情が分かる										
ように記載)										
	計 		0	計 		0				
		C.		G.						
	費 目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計		0				
		D.			Н.					
			金額		1	金額				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計		0				

# 支出先上位10者リスト <u>A</u>

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号 新0067

	平成23年行政事業レビューシート(厚生労働省)										<b>/ビューシ</b>	_	<b>\</b>	(]	<b>享生</b>	労働省)
事	業名	社	会福祉的	施設等設備	災害征	复旧費等補助	金	担当部	局庁		社会∙援護周	<b>高障害</b>	<b>F保健福祉</b>	:部	作月	<b>过責任者</b>
	開始・ ·定)年度			平成2	3年度			担当記	<b>果室</b>		障:	害福祉	止課		土	生 栄二
会計	†区分			一般	会計			施策	名		IV-7-1 障害者の 害者の地域に					
(具化	<b>心法令</b> 体的な も記載)	助及	び助成に		聿(平,	)の特別の財i 成23年法律領 が第5項		関係する通知						車補助について」		
(目指簡潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を 。3行程 以内)	スの	確保を図	るとともに、	非常		幾の記				必要な設備の役 行い、人工呼吸					
(5行	<b>美概要</b> 程度以 引添可)	●障害者支援施設等の事業復旧にかかる設 被災地における障害福祉サービスを確保す 要する経費に関する、国庫補助事業を創設し ●障害者支援施設等における自家発電機の 障害者施設等には、発汗障害があることが おり、長期化する電力の需給調整下における 態が想定されることから、当該施設が非常用				するが、他の設定がある不	ため、今回 复旧支援を 置(補助率 目ら体温調 測の停電等	の震? 行う。 :1/2) 整がで 等に伴	災をでい	を受け被災した『ない者や人工』 、夏季において	乎吸器 空調詞	まによる呼 設備が稼働	吸管理が動しないと	必要な 生命を	者が入所して おびやかす事	
実施	方法	□直	接実施		]業務	<b>委託等</b>		■補助			〕貸付	□₹	その他			
		当初予算		切予算		20年度		21年度	变		22年度 —		23年度		24年度要求	
<b>マ.</b>	车 据 。	算の	補工	E予算		_					_		3,03	0		
予算額 · 執行額	行額	状	繰走	返し等		_					_					
(単位:	百万円)	況		計		_		_			_		3,03	0		
		執行額				_	_			_						
		執行率(%)			_			_			_					
<b></b>	1.4m 77.40°			成果	指標			単位		ב	20年度	2	21年度 22年		度	目標値 (年度)
成果	標及び  実績  -カム)	障害者支援施設等の被害状況						成果実績 達成度	%	_				_		
								EIXIX	単位		20年度	2	1年度	22年	度	23年度活動見込
	標及び															
	カ実績 トプット)			災害復	旧宝網	<b></b>		活動実績			_		_	_		_
				人口区	10 //	·K		(当初見込 み)						( _	)	( – )
	当たり スト			一 (円	1/	)		算出根拠					_			
		目		23年度当初	予算	24年度要求	ţ				Ì	な増え	減理由			
成	障害者支援3 復旧にか 障害者支援 自家発	かる設値 施設等	備整備 における	0 (2,130百万 0 (900百万F												
年度予算内訳																
		計		0 (3,030百万	円)											

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状・ 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。	
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
実績		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
	じて、 被災地の	D被災事業所等の状況に応じ、適正に実施する。	
		予算監視・効率化チームの所見	
		ー 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概)	首番分になける 戸崎 小田 徳 )
		工記のド昇重代・効平化ナームの別見を踏まえた以音点(似.	昇安水(-の1)の以吹仏が守/
		_	
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)

	※平成22年度実績を記入
次人の汝上	
● 賃金の流れ (資金の受け)	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する) (単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	

		Λ			F					
	# -	A.	金 額	# 0	E.	金 額				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計		0				
		B.			F.	•				
	費 目	使 途	金額(百万円)		使 途	金額(百万円)				
			(百万円)		~ ~ ~	(百万円) 				
費日•Ġ淦										
(「資金の流れ」										
クごとに最大の										
費目・使途 (「資金の流れ」 においてでででででででででででででででででででででででででででででででででででで										
て記載する。費										
目と使途の双方で実情が分かる										
ように記載)										
	計 		0	計 		0				
		C.		G.						
	費 目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計		0				
		D.			Н.					
			金額		1	金額				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)				
	計		0	計		0				

# 支出先上位10者リスト <u>A</u>

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

77

					平成2	3 4	年行政	事業	レビニ	ューシ		<u> </u>		生	<b>労働省)</b>
事	業名		独立行政	法人福祉医療	§機構出資金		担当部				会∙援	護局			<b>龙責任者</b>
	開始 • 定)年度			平成23年	度		担当記	課室		福	祉基:	盤課		定均	《 由美子
会計	†区分			一般会計	ł		施策	名	福祉も備を図		を支	える人材育	成、利用	者保証	隻等の基盤整
(具化			独立行政法人福祉医療機構法第12条 第1項1~3号及び5~6号				関係する 通知					_	_		
(目指簡潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を ∶。3行程 认内)	す姿を 平成23年度補正予算において、福祉・医療貸作 3行程 変更の措置を講じることにより、東日本大震災に													積極的な条件
(5行	<b>美概要</b> ·程度以 ·]添可)	度以 な条件変更(償還期間の延長等)、災害復旧のた			正予算(案 :めの新規	)にて、 貸付á	被災した	と施設等のなる緩和	の再覧 (償還	建を支援すん 関間・据置	るため、IE 期間の延	債務!	に係る積極的		
実施	方法	口直	接実施	口業	務委託等		口補助		口貸付		<b>■</b> そ	の他			
					20年度		21年度		22	年度		23年	度	2	4年度要求
		予	当初予算									_			_
予貨	額・	算の	補正予算									14,00	00		
執	<b>行額</b> :百万円)			<del>等</del>							_				
(单位)		ĒΤ										14,00	00		
			執行額												
		執行率(%)													
	145 TV 46	成果指標						単位	20	年度	2	21年度	22年	度	目標値 ( 年度)
成果	美種	出資金は、東日本大震災により被災した施設等の災害復旧のための財源として、被災地の復興状況に応				成果実績									
(アウ	トカム)	じて臨機応変に取り崩すこととしているものであることから、定量的な成果目標を示すことは困難である。						%							
		活動指標						単位	<u>z</u> 20	年度			22年	度	23年度活動見込
活重	<b>信標及び</b> 対実績 トプット)	東日	本大震災に	 係る災害復	[旧資金貸付契	約額	活動実績(当初見込	億円							_
							み)								(1,700)
	当たり スト	平成2 績が <sup>7</sup>	23年度から <i>0</i> ないため未訂	の事業であ 己載	り、平成22年度	は実	算出根拠	東日: × 単	本大震災に 単位(1億円	:係る [当 <sup>‡</sup> )]	期欠損	金(未定) /	貸付金残高	5(1,700信	(円)
		1 目	23年	F度当初予算	24年度要求					Ė	上な増	減理由			
平成23・24年度予算内訳		<u></u>													

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。	
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
単の法	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
一の流れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
B	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	東日本力	、震災により被災した医療・福祉施設等が復旧・再建していくために必要な₹	事業であり、今後執行状況の確認を行っていく。
		予算監視・効率化チームの所見	
		_	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)
		_	
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	る場合はその結果も記載)

	※平成22年度実績を記入 
	事業開始が平成23年度からのため未記載
<b>資金の流れ</b> (資金の受け	
取り先が何を	
行っているかについて補足	
(資金の流れ (資金のの受け 取分のででででででででできるできるできるできるできるできる。) (世代では、1000年)には、1000年)には、10	

費目     使途       事業開始が平成23年度からのため未記載	金額(百万円)				
事業開始が平成23年度からのため未記載					
計	0				
B. F.					
費目     使途       (百万円)     費目	金額     (百万円)				
(「資金の流れ」    においてブロッ					
クごとに最大の 金額が支出され					
ている者につい て記載する。 費					
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)					
ように記載) 計 0 計	0				
	G.				
費目     使途       金額(百万円)     費目	金 額 (百万円)				
計	0				
D. H.					
費目     使途       (百万円)     費目       使	金 額 (百万円)				
計	0				

## 支出先上位10者リスト A.

A					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1		事業開始が平成23年度からのため未記載			
2		争未開始が十次20千度からのため不記載			
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10				_	